

原田三紀夫・中島 正暢・  
立野 一郎・荒木 駿二

17歳男子，交通事故による多発性外傷にて来院。進行する貧血，胸部レ線で気管の右方偏移，拡大する縦隔，左肺尖部胸膜の下降，DSAにて左鎖骨下動脈の途絶より左鎖骨下動脈離断と診断し径6mmPTFEグラフトで血行再建術を施行した。

### 13. 鈍的外傷による心室中隔破裂に対する1手術治験例

Successful repair of rupture of ventricular septum due to blunt trauma.

(群馬循環器病院外科)

太田 淳・永瀬 裕三・原田 昌範

交通外傷による心室中隔破裂の患者に対し，受傷から1カ月後にパッチ閉鎖術を行い，良好な結果を得たので報告する。中隔破裂は2×3 cm，心尖寄りに位置し，周辺組織には線維がみられた。患者は，手術後順調に経過している。

10:31~11:43

座長 於保 健吉(東京医科大学)

### 14. 縦隔胸膜の一部が欠損し左右胸腔が交通したことにより両側気胸が生じた1例

A case of bilateral pneumothorax through a communication caused by partial defect of mediastinal pleura.

(慶応義塾大学医学部外科学教室)

野守 裕明・中山 光男・川村 雅文・  
堀之内宏久・菊地 功次・鈴木 隆・  
加勢田 静・小林 紘一・石原 恒夫

18歳男性。本年9月両側自然気胸で手術を施行。左肺尖部分に3cmのbullaを認めたが，右側にbullaは認めなかった。しかし気管分岐部より下方の縦隔胸膜は約15cmにわたり欠損し，左右の胸腔は交通していた。このため右側の気胸はこの交通により生じたものと考えられた。

### 15. 気胸を呈した両側肺巨大嚢胞の1治験例

A case report of bilateral giant bulla for pneumothorax.

(埼玉医科大学第1外科)

松田 高明・金子 公一・  
田口 泰・尾本 良三

38歳男子，呼吸困難にて発症，他院にて両側気胸の診断を受け転院。右持続胸腔ドレナージ後，CTにて両側肺巨大嚢胞の診断を得た。ほぼ右肺上葉全体を占め

る嚢胞に対して切除を施行。3週間後に左肺巨大嚢胞に対して切除及び縫縮術を施行し治療せしめたので報告する。

### 16. 妊娠に合併した自然気胸の1例

A case of pneumothorax associated with pregnancy.

(東京慈恵会医科大学第1外科)

鈴木 且磨・畠村 泰樹・南雲 吉則・  
秋葉 直志・三浦 金次・小林 進・  
荒瀬 憲朗・桜井 健司

最近我々は，妊娠14週で発症した自然気胸の一例を経験したので報告する。症例は30歳女性，左肺に約35%の虚脱を認め，手術治療におけび人工妊娠中絶を施行した。妊娠に合併した自然気胸は，本邦では現在までに8例の報告をみるに過ぎず，稀なものと思われた。

### 17. Myxomatous change を伴った前縦隔神経鞘腫の1例

A case report of schwannoma with myxomatous change in the anterior mediastinum.

(横浜市立大学医学部第1外科)

諸星 隆夫・久保 秋夫・  
田村 聡・松本 昭彦

76歳女性，胸部XPで前縦隔に左右1コづつの手拳大腫瘤を認めた。穿刺生検で左 schwannoma，右 myxoma の診断。摘出標本では，左右連続し，ひょうたん型をした左第2肋間神経由来の schwannoma で，右側に myxomatous change と一部に malignant cell を認めた。

### 18. 縦隔腫瘍を呈した胸腔内硬膜囊腫の1治験例

A case of intrathoracic meningocele presented mediastinal tumor.

(飯田市立病院外科)

志田 寛・津金 次郎  
原 克実

70歳，女性，レックリングハウゼン病であったが，右前胸部の手拳大の腫瘤と巨大な左縦隔腫瘍(神経原性腫瘍)の疑いとして入院手術となった。右前胸部の腫瘤は悪性神経鞘腫であった。左縦隔腫瘍は第2，第3胸椎の部分欠損を伴い，その部より発生した硬膜囊腫であった。手技的には問題はなかったが，稀な縦隔腫瘍の型であったので報告する。

### 19. 6歳男児，ganglioneuroma の1例

A case report of ganglioneuroma in a 6 years